

第40回全国スポーツ少年団学童軟式野球大分県大会実施要項

主 催 大分県軟式野球連盟

後 援 大分県スポーツ少年団本部

後 援 大分県体育協会

後 援 大分合同新聞社

1. 期 日 平成30年7月14日(土)、15日(日)、16日(月)
2. 場 所 国東球場、国見球場、安岐球場、武蔵多目的グラウンド
3. 参加資格 大分県軟式野球連盟(学童部)に登録されたチーム並びに本年度日本スポーツ少年団に登録されたチームで、小学生で編成されたチームとする。
※ただし、6月に開催された高円宮賜杯第38回全日本学童軟式野球大分県大会にて、ベスト4に入ったチームは出場できないこととする。
なお、チームには2名以上の有資格指導者が必要である。
4. 参加チーム 各支部1チーム(但し登録チーム数により以下のとおりとする。)
大分支部は4チーム、鶴崎・別府・佐伯は3チーム、速杵・中津・宇佐・国東・臼杵・大野・日田支部は2チーム出場できる。
5. 参加申込 「大分県軟式野球連盟事務局」宛
TEL 097-532-7133 FAX 097-532-9914
平成30年7月3日(火)迄に規定の申込書でFAX電送のこと。
参加料は各支部へ15,000円納入のこと。
6. 抽 選 会 平成30年7月7日(土)午後1時 大分県連会議室
7. 大会規則 抽選会時に説明を行う。チームの監督が必ず出席すること。
なお、今大会の開会式は行わない。
8. 九州大会 優勝・準優勝チームは8月25日から佐賀県での九州大会に出場できる。
第3位チームは8月18日から長崎県での第31回九州学童大会に出場できる。
9. 支部責任者へ (イ) 予選記録を添付して下さい。
(ロ) 出場チームには必ずこの要項を渡して下さい。
(ハ) 本年度登録〆切は3月31日迄です。早めにお問い合わせ致します。
10. 使用球 ナガセケンコーボール(公認C号)

11. そ の 他

- (1) チームはスポーツ少年団に入団のこと確認して下さい。
- (2) スポーツ傷害保険に加入のこと。
- (3) 支部長は申込書の確認をしFAXして下さい。
- (4) 県大会を棄権した場合、支部は翌年の出場枠を失うこととなる。
- (5) 各球場ともゴミ類は各自で持って帰ること。
- (6) 各球場とも補助グラウンドがないのでキャッチボール程度に。
- (7) マナーを守りましょう。

大分県軟式野球連盟

会長 佐 保 洋 介

(公印省略)

＜学童の部・大分県大会注意事項について＞

1. 開会式がある大会は開始時間の45分前迄には集合し、受付を済ませてください。
※選手の移動については時間にゆとりを持ち、安全運転に十分留意して下さい。
大会出場記念として各チームの集合写真を写真会社が撮影します。後日、チームの代表者にパネル等の見本品をお送りますので、代表者の方は連絡先等を写真会社に知らせてください。(個人情報厳守いたします。)
2. 開会式の入場行進については、同一ユニフォームを着用した選手で背番号が「0番～99番」の選手のみ入場行進を認めます。(総勢30名迄とするがベンチ入りは20名)行進は背の高い順に2列行進で行います。選手はスパイクを着用のこと。
入場行進は開会式での重要なセレモニーです。行進の練習をお願いします。
開会式にはチーム名のプラカード、代表旗(優勝旗)、団旗を持参してください。
3. 開会式時には監督・コーチはグラウンドに整列をして選手への激励をお願いします。
4. 組合せ表の試合開始時間は目安であり、天候等の状況により開始時間を早めることもあるので、開始予定の1時間前には集合してください。球場の開門は1時間前とする。
(雨天時の問合せは各チーム代表者1名のみが問合せを行ってください。県連からは各チームの代表者に連絡はしないので、自チームで勝手な判断をしないでください。)
※雨天の場合でも試合開始時間を遅らせて日程を消化することもあります。
5. 各球場ともに十分な練習会場がありませんので、ご理解ください。
6. 当日、登録監督が不在の場合はコーチの代理を認めるので、試合前に届け出ること。
7. ベンチ入り出来る大人は、監督1名、コーチ2名、チーム代表者1名、引率責任者1名、スコアラー1名の合計6名迄とする。(男女は問わない)ベンチ入りする大人はスポーツ行事にふさわしい格好であること。ユニフォームの着用は監督1名とコーチ2名の合計3名のみで、以外の大人はユニフォームを着用してベンチ内に入ることはできません。試合開始前の練習時に保護者がグラウンド内に入り練習を補助することはできません。試合終了後は、両チームの選手でグラウンド整備を行ってください。
8. 九州・全国大会に出場したチームは、主将等に感想文を提出させてください。
9. 90分制の試合については、各会場の責任者(県連役員)が主審を通じて両チームの監督に事前にお知らせしますので、各自で勝手に判断をしないこと。
(基本的には7回制を優先しますが学童の場合、試合時間が長引くことがありますので、そのイニングの先攻のチームが攻撃する前に両チームの監督にお知らせしますが、試合展開(先攻チームの攻撃時間が著しく長引く場合等)によっては、後攻チームの攻撃の前にお知らせすることもあります。)
10. 2試合目以降のオーダー交換は前の試合の4回終了時に監督と主将がユニフォームを着用のうえ本部に来て行う。当日、監督不在の場合は必ず事前に代理を申し出ること。
11. 聞き苦しい保護者の「ヤジ」はチームの責任として対処します。
チームの応援は自チームが攻撃の時は基本とし相手が攻撃の時は控えることとする。
※投手が投球動作に入ったら、応援はやめること。(全国スポーツ少年団競技規則)
12. 選手の守備・打者用手袋の着用については規制をしないこととする。
(ただし、色は黒か白の1色とする。技術育成の等、指導者には配慮をお願いします。)
13. 捕手は安全のため、ファウルカップを着用すること。なお、投球練習時の捕手は必ずキャッチャーマスクを着用すること。(控え捕手も同様)
14. ベンチ入りする監督・コーチのユニフォームのズボンについては、ロングパンツは禁止する。
15. 投手の投球制限については、肘、肩の障害防止を考慮し1人1日7イニングまでとする。但し、特別延長戦に限り2イニングは認める。
なお、学童部三年生以下にあつては5イニングまでとする。投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについては、三分の一回(アウト一つ)未満の場合であっても1イニング投球したもものとして数える。
ダブルヘッダーの場合、必ず投手の報告を行うものとし、違反した場合処分を行う。
16. 小学校低学年(3年生以下)の選手を大会に出場させる場合は、必ず保護者の同意書の提出を必要とする。(開会式当日に受付時に同意書を提出すること。)
17. 試合当日は、両チームでボールボーイの配置と審判員へのお茶出しをお願いします。